

# 筑前琵琶、現代音楽による浄瑠璃人形の世界

筑前琵琶と現代音楽による  
三人違い浄瑠璃人形の可能性を追求した  
古典芸能と現代人形演劇の融合

## [一部]福岡癸～現代と古典のミライ～

出演 木偶舎勘緑 筑前艶恋座 尾方蝶嘉  
なかしま拓 みもじゅん ウズメヒメ

## 人形浄瑠璃ワークショップ

出演 木偶舎勘緑 筑前艶恋座 尾方蝶嘉

## [二部]音楽人形演劇「True Life」

出演 木偶舎勘緑 筑前艶恋座  
おおたか静流 住友紀人 渡辺庸介 野沢香苗

◆日時 2021年12月12日(日) 開場 13:30 開演 14:00

◆場所 福岡市民会館大ホール TEL:092-761-6567

◆入場無料(投げ銭大歓迎!)

本公演はガイドラインに従いながら新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した公演となります。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場時にお名前・連絡先のご記入をお願いします。

※記載していただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染予防以外には使用しません。  
※クラスター発生など万が一の場合には、保健所等の公的機関へ提供します。  
※取得した個人情報は、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施します。



尾形蝶嘉



木偶舎勘緑



なかしま拓



筑前艶恋座



おおたか静流



住友紀人



渡辺庸介



野沢香苗



みもじゅん



松木久美子(ウズメヒメ)

【主催】 (株)福岡市民ホールサービス(福岡市民会館指定管理者)

【共催】 木偶舎勘緑/筑前艶恋座

【後援】 福岡市

ウイルスや自然の災害により、人と人との信頼関係が薄れたり分断したりの世の中に、文化・芸能・芸術もその必要性も同様に变化しつつある気がする現在、かつての感性豊かな生活を取り戻すため、文化は古典(これまで培ってきた先人たちの歴史や努力による成果)と現代(現在を生きる人々の勇気や活力を啓発する活動)が今こそ手を取り合い理解し合ってこれからの模索する時代だと考えます

福岡発信の琵琶による人形浄瑠璃劇団 「筑前艶恋座」  
福岡市民の「多彩なジャンルの表現者」たち  
浄瑠璃人形で現代音楽と新たなジャンルの表現を展開する「現代音楽人形演劇」

これらがアマチュア・プロフェッショナルの枠組みなんか吹っ飛ばして、これからの“生き方の見つけ方”を観客と共に模索する試みです

皆さん是非参加してください

入場無料ですが活動資金のためのカンパ公演です  
よろしく願いいたします。

木偶舎勸緑

## Artist Profiles



### 木偶舎勸緑

元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰  
1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門  
人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月、33年間在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いとなる。  
主宰する「木偶舎」では、各地で自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出している。

全員のプロフィールはこちらから

### 筑前艶恋座

2012年5月設立。  
人形遣いの勸緑が代表を務める、国内初の琵琶による人形浄瑠璃一座。  
名前の由来は、2011年に福岡市南区と九州大学HMEとの連携企画事業として好評を博した「艶競里恋唄(つやくらべぎとのこいうた)」という演目からの引用。  
このときのスタッフ・キャストが筑前艶恋座のメンバーとなり、その後、2回のワークショップなどにより新メンバーが加入。  
古典作品のみならず、現代にも訴えかける作品を創作することも視野に入れて、多くの市民が参加し、楽しんで見ることができる人形浄瑠璃を発信していきたいと考えている。

(これまでの主な出演舞台)

- 2013.3 筑前艶恋座 旗揚げ公演(ぼんぷらぎ)
- 2014.8 河合塾福岡校、小倉校 文化講演会
- 2015.7 筑前艶恋座 第2回公演(大橋ゆめあーる)
- 2016.1 人形浄瑠璃と筑前琵琶の共演(伊都文化会館大ホール)
- 2016.1 福岡県父母と教師の教育交流会「第1部 日本の古典芸能の魅力」(嘉穂劇場)
- 2016.8 河合塾福岡校、小倉校 文化講演会
- 2016.12 清和文楽+筑前艶恋座の響演(パピオビールーム)

その他、カフェ、本屋、屋外公演など多数。また、ワークショップも開催している。



### 福岡市民会館

【交通アクセス】

天神 ソラリアステージ前2A乗り場より  
BRT乗車「福岡市民会館」下車 徒歩すぐ  
20番 80番 90番乗車「市民会館南口」下車 徒歩4分